
① アンカー概要

② 教育活動に関して

(アンカーは2021年8月設立のためそれ以前は
横田ゼミおよび横田アソシエイツの活動を含む)

③ 決算資料

202204

一般社団法人アンカー

一般社団法人アンカー

名称 一般社団法人アンカー
事務所 103-0022東京都中央区日本橋室町1-12-3 3階
(株)横田アソシエイツ内 (03-6262-2996)
設立 2021年8月2日
代表理事 横田浩一、山野広貴、高堰うらら
理事 北村理紗、小林真緒子

事業内容

主に中学生、高校生に対するPBLなどの学習方法によるキャリア教育、SDGs教育を通じて公平かつ質の高いプログラムを提供。探究型教育を通じてキャリア・アンカーを見つける手助けをする。

- ・ 中学、高校における総合的学習の時間を活用したプログラム展開
- ・ 学生対象のセミナー
- ・ 修学旅行を通じたSDGsプログラムの企画・実施
- ・ 企業の研修・セミナー
- ・ 動画コンテストの企画・運営など

ホームページ <https://www.anchor-project.org/>
会計税務顧問 松本次男公認会計士税理士事務所

理事



横田浩一 慶應義塾大学政策・メディア研究科特任教授、横田アソシエイツ代表取締役、一般社団法人アンカー代表理事。日本経済新聞社を経て独立。共著に「SDGsの本質」「ソーシャルインパクト」など。現在朝日新聞デジタルSDGsACTION!に「ビジネスパーソンのためのSDGs講座」を連載中。釜石市地方創生アドバイザー。セブン銀行SDGsアドバイザー。



高堰うらら 東京大学大学院 工学系研究科 博士課程、NPO法人Yourschool副理事長、一般社団法人アンカー代表理事。米国で育つ。元セブンティーンモデル。慶應義塾大学法学部政治学科を経て理系の大学院に進学。専攻は都市工学。NHK「マイケルサンデルの白熱教室」出演等。



山野広貴 一般社団法人アンカー代表理事。代表理事として、団体の経営・ファンドレイズを担当。また、有限責任監査法人トーマツ 公共政策部門にて、自治体・中央省庁向けのコンサルティングに従事。前職は米系PR会社にて日本政府の規制緩和や法制度改正に向けたロビイング・世論形成の経験を有する。準認定ファンドレイザー。石川県金沢市出身。



北村理紗 慶應義塾大学総合政策学部4年、一般社団法人アンカー理事。中高生向けSDGs教育プログラム全般を担当。今夏は1か月間北海道東川町でフォルケホイスコーレの研修を受講。日経ソーシャルビジネスコンテストパネルディスカッションに玄田東大教授らと教育・人材育成をテーマに登壇。



小林真緒子 津田塾大学総合政策学部3年、一般社団法人アンカー理事。次世代ユネスコ国内委員会メンバー。ユネスコスクールの活性化を提案中。中高生向けSDGs教育では、こども食堂やファッション×エコを担当。#SASS2021代表。

主要メンバー



船野 杏友
慶應義塾大学
環境情報学部 3年



中島幸乃
慶應義塾大学
環境情報学部2年



安宅佑亮
慶應義塾大学
環境情報学部 3年



片岡里菜
慶應義塾大学
総合政策学部 2年



山口舞雪
慶應義塾大学
総合政策学部2年



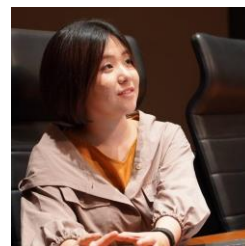
八木稜太郎
慶應義塾大学
経済学部3年



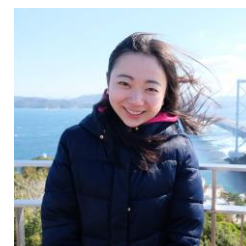
井村真由
慶應義塾大学
看護医療学部4年



高橋史子
慶應義塾大学
総合政策学部3年



山本 愛優美
慶應義塾大学
環境情報学部3年



佐藤 千夏
慶應義塾大学
法学部政治学科4年



田島琴理
津田塾大学
総合政策学部2年



安田 光希
横田ゼミOB
STANDARD代表取締役
起業家



壺内咲花
武庫川女子大学
経営学部3年



渋川 駿伍
MITxMicroMasters
起業家



谷口 真一
横田ゼミOB
コンサルティング会社勤務

②教育活動に関して
(アンカーは2021年8月設立のためそれ以前は
横田ゼミおよび横田アソシエイツの活動を含む)

アンカー 大学生によるSDGs 授業、修学旅行

➤ 姫路女学院（摺河学園）

リベラルアーツの授業において、SDGsをテーマにしたPBLを年間を通して実施。以下の3つのプロジェクトのどちらかを選び、メンバーの一員として運営をする。自分自身の頭で考え、実際に経験をしていく中で、SDGsの切り口から姫路の地域課題を学ぶ。各チームは横田ゼミ生が指導。高校1・2年生の混合チームで各チーム約30名。合計90名。月1回×8コマ。

2020年①こども食堂チーム②観光プロジェクトチーム

③ファッション×SDGsチーム

2021年①ジェンダー②環境③こども食堂

2022年①ファッション×エコ②LGBTQ+ ③福祉

をテーマに実施。



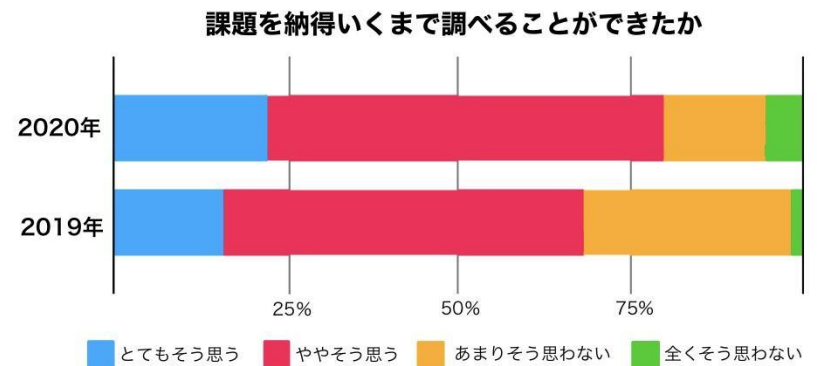
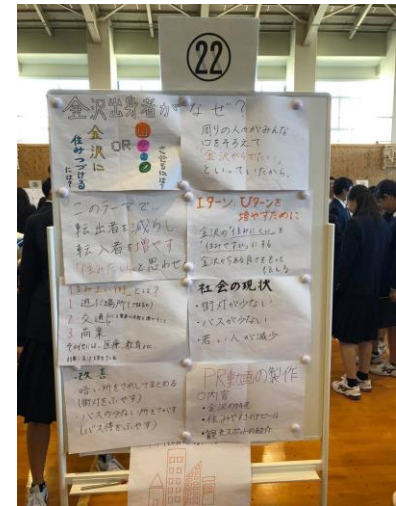
修学旅行もSDGsをテーマに北海道を訪れ大学生が同行。

アンカー 大学生によるSDGs 授業、修学旅行

➤石川県立金沢西高等学校

総合的学習の時間について、先行事例開発として2019年から3年間を通して同じ学年に授業を実施。金沢市による委託事業。

横田ゼミを中心とした大学生約10名と、企業のSDGsや社会起業家について調べる。1学年320名約80チームが活動。毎週1コマ。結果として学校推薦や総合型選抜で国際教養大学、金沢大学などに複数人合格者を輩出した。



アンカー（横田ゼミ） 大学生によるSDGs 授業、修学旅行

➤ 国学院久我山中学

中学3年生男子 5 クラスを対象にキャリアのプログラムを展開。全体で 4 コマ。

- ①横田のキャリアに関する講演（全体）
- ②大学生（各クラス一人）による大学生が考えるキャリア
- ③ワークショップ
- ④発表



➤ 武庫川女子大大学経営学部（2020年新設学部）

武庫川女子大大学経営学部（兵庫県西宮市）1年生を対象に横田ゼミをオンラインにて開催。

中高生向けSDGsコンテスト(SASS)を運営、実施するプログラムを40時間以上行うと単位認定。

アンカー（横田ゼミ）大学生によるSDGs 授業、修学旅行

▶ 鎌倉市教育委員会（神奈川県）

玉縄中学において中学1年生7クラスに対し、大学生とSDGsをテーマにした総合学習を実施。鎌倉市の総合学習のモデルを開発中。月1回授業。環境、ダイバーシティ&インクルージョンなどのテーマ。岩岡教育長（文科省出身）の仕掛けた教育ファンド「鎌倉スクールコラボファンド」の1プログラム。ループリック評価では、中学1先生としては高い評価となった。

▶ 千葉県船橋市立飯山満中学校

中学2年生の修学旅行監修&事前学習。金沢と富山の3都市（氷見、高岡、砺波）を訪問し、そのPR動画をSNSで発信する修学旅行。事前にSNSの危険性やSTPマーケティング、地方創生、観光などを学ぶ。横田+小林真緒子が担当。

▶ 駒場学園（東京都・私立）

昨年からの修学旅行をSDGs体験旅行と名前を変え、北海道（東川町、下川町）、釜石コースを横田が監修。環境や小さな町のサステナビリティを学び、移住者から話を聞いた。横田ゼミによる事前学習、および修学旅行に同行。

2022年4月から放課後プロジェクトをアンカーが担当。マイプロジェクトを中心に進める予定。

▶ 御殿場西高等学校（静岡県・私立）

2022年4月から特進クラス（約50名）の探究学習の授業を大学生が担当。

アンカー（横田ゼミ）大学生によるSDGs 授業、修学旅行

➤新潟明訓高等学校（新潟県・私立）

キャリア教育

午前 横田講演（SDGs1時間、人生100年時代のキャリア1時間）〈全体〉

午後 大学生による自身のキャリアの考え方1時間〈各クラス〉



企業とのワークショップ（セブン銀行）

社員の社会貢献活動の興味を引き出すにあたって、大学生がLGBT、こどもの教育、外国人共生、地方創生などのテーマについて簡単なレクチャーをしたあと議論。

舟竹社長など社員30名程度が参加。



アンカー（横田ゼミ）大学生によるSDGs 授業、修学旅行

➤ 鷗友学園、八雲学園、駒場学園

岩手県釜石市において、震災と地方創生を学ぶソーシャルワークキャンプを実施。2017年8月（リアル）、2018年8月（リアル）、2021年8月（オンライン開催）。

市役所にオープンシティ戦略を学び、被災した寺崎さん（慶應SFC学生）や宝来館岩崎女将から話を聞く。また震災ボランティアを機に釜石に移住した方の話を聞き、キャリア教育に繋げる。最後は市役所の方に関係人口増の施策をプレゼンする修学旅行。



高専GCON2021（高専×日経 協力：アンカー）

2021年から開始された高専機構（全国の高専対象）および日本経済新聞社主催の男女共同参画SDGsコンテストに協力。
ネットワーク会の運営やSDGSの視点からの1次審査、審査員（横田）などを担当。

【日時】 2021年11月5日19時～21時 オンライン開催

【内容】

- 19:00～ 今日のお旨とスタッフ紹介
横田浩一＋小林真緒子（司会）
- 19:10～19:30 「文系女子が理系の大学院に進学してみたなら！」（仮）
高堰うらら 東京大学大学院工学研究科2年
- 19:30～20:45 Meetup 社会課題の感想をシェア
ブレイクアウトルームごとに地方創生、LGBT、外国人との共生、教育、環境などの課題について感想をシェア。ファシリテーターは大学生。
（どのようなテーマでも、感想&意見でもOK）。
3回転を予定。
- 20:45～21:00 全体シェア

#SASS2020（初年度開催概要）

「大学生による中高生のためのSDGsサステナビリティアワード」



「SDGsを考え行動し発信する」をテーマにした映像、コンテンツを中心にした特設サイトを開設。慶應義塾大学や武庫川女子大学横田ゼミ学生を中心に運営。ナビゲーター、有識者、インフルエンサーとともに高校生・中学生を対象にしたSDGs動画アワードを実施する。

「社会を変える広がり」を創出するため、企業と学生をつなぐワークショップの実施や、SDGs教材としての教育現場での活用、同世代への発信など、多岐にわたる展開を目指す。また、発信された映像のうち、良いものについては審査の上表彰する。

◆教育教材

SDGsを学ぶ全国の中高探求の時間や学生団体、ゼミなどのプログラムの一部としてもらい発表の場を提供する。優秀なアクションプランについては企業との橋渡しをするなど、社会を変える行動を広げる仕組みづくりの場とする。

実施体制/目的

目的

これからの未来を担うジェネレーションZ世代(U22)からのメッセージを映像を通して世の中に伝え、「社会を変える広がり」を創出する。
SDGs教育、教材としての活用

- ◆事業名 #SASS2020
「第1回大学生による中高生のためのSDGs/サステナビリティアワード」
- ◆主催 #SASS2020実行委員会
- ◆共催 武庫川女子大学経営学部
横田アソシエイツ/アンカー
- ◆後援 外務省、神戸市、北九州市、札幌市、金沢市
- ◆協力 《企業》近畿日本ツーリスト首都圏
《団体》立命館大学サステナブルウィーク

実施概要

- ◆募集テーマ：「SDGsを考え行動し発信する」
- ◆応募資格：全国の中学生・高校生（1～8名の個人またはチーム）
- ◆応募条件：2～7分の動画作品（動画内にSDGs1～17の番号を表示）
- ◆応募方法：作成した動画をYouTubeにアップし、応募フォームより必要事項を記入し応募
- ◆審査方法：一次審査・・・実行委員大学生の審査によりファイナリストを選出
最終審査・・・審査委員の審査により、各賞を決定
- ◆賞：最優秀賞(1点)、優秀賞(2点)、優秀賞<中学生部門>、(1点) 明日への挑戦応援賞(1点)
作品賞－Think賞/Action賞/Message賞(各1点)
特別賞－近畿日本ツーリスト賞、武庫川女子大学賞、ミライノラボ賞、横田アソシエイツ賞(各1点)
- ◆審査指標：①考える力<Think>
SDGsに関連する社会課題について考え、課題解決に向けて探究できているか
②行動する力<Action>
調査、問題提起、行動したことなど、個人あるいはグループで実行できているか
③伝える力<Message>
映像を通して、自分達の伝えたい社会課題を表現できているか
- ◆スケジュール：
《募集期間》2020年11月2日～2021年1月29日
《一次審査》2021年2月7日～2月10日
《最終審査会》2021年3月9日
《受賞者発表》2021年3月20日

審査委員プロフィール



福井誠

武庫川女子大学経営学部長・教授

1957年神戸市生まれ。関西大学大学院社会学研究科修了。社会学修士、博士(人間文化学)。専門は経営情報学・社会情報学、社会心理学。民間企業勤務、広告代理店経営などの後、富山女子短大商経学科、甲子園大学経営情報学部助教授・教授、流通科学大学情報学部・経済学部教授・副学長をへて武庫川女子大学に初の社会科学系学部である経営学部を設置し、教授、学部長に就任。大学以外の活動として株式会社応用尾社会心理学研究所代表取締役の他、自ら地域でシェアードキッチンやカフェを運営する。地元神戸市では、オープンデータ推進会議座長、ICTガバナンス評価委員会委員、観光MICE部モダニズム&ネイチャー選定委員などをつとめる。



横田浩一

横田アソシエイツ代表取締役、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授

日本経済新聞社を経て2011年、株式会社横田アソシエイツを設立。15年～慶應義塾大学大学院特任教授。企業のブランディング、マーケティング、SDGsなどのコンサルタント。セブン銀行SDGsアドバイザー、岩手県釜石市地方創生アドバイザー。共著に『SDGsの本質』（中央経済社）、『明日はビジョンで拓かれる』（碩学舎）、『愛される会社のつくり方』（碩学舎）、『ソーシャル・インパクト』（産学社）など多数。



大原浩

株式会社近畿日本ツーリスト首都圏代表取締役社長

神奈川県出身。1990年明治大学経営学部卒、近畿日本ツーリスト株式会社（現KNT-CTホールディングス）入社後、企業・自治体を中心とした団体旅行営業に従事。国内・海外を問わず様々なジャンルの旅行の企画・運営から、スポーツの国際大会や音楽祭といった大型イベントのプロデュースなど、旅行業の新たな形を創出。2018年株式会社近畿日本ツーリスト首都圏執行役員、2020年6月同社長に就任。「人生の感動体験をデザインし、一人ひとりの"楽しく生きる"を応援する」を社是と掲げる。



山田基靖

姫路女学院高等学校 摺河学園長、外務省

学校法人摺河学園 学園長(官民人事交流により外務省より派遣中)。2005年外務省入省。外務本省では欧州局、国際法局、経済局勤務。ニューヨークの国際連合日本政府代表部にてSDGsを担当。2019年8月より現職。



池本修悟

公益社団法人ユニバーサル志縁センター専務理事

高校時代、阪神淡路大震災に際し、何もできない自分に歯がゆさを感じ、大学進学以降、NPOの事業サポートや社会活動を行う人たちのネットワーク化など様々な社会事業に取り組んできた。東日本大震災においては、762団体ものNPO団体が参画した東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)の立ち上げにかかわり、いざというときの底力と継続的な連携の難しさを思い知った。そこで緊急時だけでなく普段からセクターを超えて協働できる若者が集い学び合うコミュニティ「社会創発塾」をプロデュース。2016年には公益財団法人日本ユースリーダー協会(会長：三村明夫氏)が主催する若者力大賞のユースリーダー支援賞を受賞。



田島翔太

千葉大学大学院国際学術研究院助教・博士(工学)

株式会社ミライノラボ代表取締役CEO、長柄町タウンアドバイザー兼務。大学院時代、学生によるゼロエネルギー住宅の世界大会「ソーラー・デカスロン」の日本代表リーダーとして欧州で活動。その経験を活かし、持続可能な地域づくりを研究者、実務者の立場で教育、実践する。自身も人口6,800人の千葉県長柄町に移住し、産官学連携によるCCRC(ケア付き高齢者コミュニティ)事業等を推進。2018年に若者による地域活性化をおこなう地方創生ベンチャー・ミライノラボを設立。



高堰うらら

東京大学大学院工学研究科1年・横田ゼミOG

1997年12月東京生まれ、アメリカ・ワシントン D.C.育ち。中学時代に「ミスセブンティーン2012年」で優勝し、大学生まで雑誌「Seventeen」専属モデルとして活躍。慶應義塾大学法学部政治学科に入学後は、企業家を支援する学生団体での活動に加えて、全世界から若者の代表が集まり議論する“One Young World”の日本代表を務めるなど幅広く活動していた。またAI/ディープラーニング関連ベンチャー企業や教育関連企業、さらには建築設計事務所などでのインターンも経験した。さらに2020年4月からは東京大学大学院に進学し、まちづくり(都市工学)について勉強をする一方で、自動運転・MaaSなどのモビリティとまちづくりを組み合わせたプロジェクトを行うscheme verge株式会で事業開発の担当者として奮闘している。

実行委員会メンバー

小林 真緒子
Maoko Kobayashi

津田塾大学
総合政策学部 総合政策学科2年



北村 理紗
Risa Kitamura

慶應義塾大学
総合政策学部 総合政策学科3年



富樫 美都
Miku Togashi

慶應義塾大学
商学部2年



壺内 咲花
Emika Tsubouchi

武庫川女子大学
経営学部 経営学科2年



広瀬 愛理
Airi Hirose

千葉大学
法政経学部 法政経学科2年



北川 颯大
Souta Kitagawa

千葉大学
法政経学部 法政経学科3年



大川 真央
Mao Okawa

青山学院大学
国際政治経済学部 国際経済学科4年



鈴木 彩乃
Ayano Suzuki

青山学院大学
国際政治経済学部 国際政治学科3年



川島 大君
Taikun Kawashima

青山学院大学
国際政治経済学部 国際経済学科3年



今中 麗奈
Rena Imanaka

武庫川女子大学
経営学部 経営学科2年



岸本 マリア
Maria Kishimoto

津田塾大学
総合政策学部 総合政策学科2年



鈴木 ひとみ
Hitomi Suzuki

千葉大学
文学部 人文学科2年



藤原 栞
Shiori Fujiwara

関西大学
政策創造学部 国際アジア法政策学科2年



大澤 桃子
Momoko Osawa

慶應義塾大学
法学部 政治学科1年



片野 里菜
Rina Katano

慶應義塾大学
法学部 政治学科1年



山口 舞雪
Mayu Yamaguchi

慶應義塾大学
総合政策学部 総合政策学科1年



渡邊 莉央
Rio Watanabe

昭和女子大学
国際学部 国際学科1年



くばさき
Kubosaki

津田塾大学
学芸学部 英語英文学科1年



住吉 胡桃
Kurumi Sumiyoshi

桜美林大学
リベラルアーツ学群1年



田島 琴理
Korori Tajima

津田塾大学
総合政策学部 総合政策学科1年



本多 美南海
Minami Honda

慶應義塾大学
総合政策学部 総合政策学科1年



林 愛菜
Mana Hayashi

慶應義塾大学
経済学部 経済学科1年



中谷 若奈
Wakana Nakatani

武庫川女子大学
経営学部 経営学科2年



幡中 葵
Aoi Hatanaka

武庫川女子大学
経営学部 経営学科2年



藤田 彩
Aya Fujita

武庫川女子大学
経営学部 経営学科1年



応募実績（2020）

応募実績	144件（全国の中学高校より26校・144作品・619名の参加）
一次審査通過作品	35作品
受賞作品	14作品

<参加実績>

・全国13府県

（山形、群馬、栃木、神奈川、長野、石川、東京、静岡、兵庫、大阪、広島、長崎、沖縄）

・参加校 26校（619名の参加）

AICJ中学高等学校/青山学院高等部/鷗友学園女子高等学校/沖縄興南高等学校/
お茶の水女子大学附属高校/加古川市立陵南中学校/関西学院千里国際中等部/金沢泉丘高等学校
金沢西高等学校/群馬県立高崎北高等学校/工学院大学附属高等学校/神戸国際高等学校
駒場学園高等学校/聖和女子学院高等学校/洗足学園中学校/同志社中学校/東京都立小平高等学校
東京立正中学校高等学校/栃木県立佐野高等学/長野県長野高等学校/浜松学芸高等学校
姫路女学院高等学校/広島市立広島中等教育学校/広島県立油木高等学校/三田国際学園高等学校
山形県立酒田東高等学校

受賞作品 (2020)

・最優秀賞(1点)

「#STAY HOME中の私のSDGsアクション」 Rnote / 駒場学園高等学校

・優秀賞 (2点)

「Action - Anytime, Anywhere.」 まゆ / 東京都立小平高等学校

「東京立正×カンボジア～ミサンガで繋がる想い～」イノベーションコース 3年 松浦美織 / 東京立正高等学校

・優秀賞【中学生部門】(1点)

「#SASS2020⑤ジェンダー平等について考える～Part1/男女平等について～ ～Part2/LGBTQ+について考える～」
#GenderEquality / 洗足学園中学校

・明日への挑戦応援賞(1点)

「私が実現したい平和について」 片野里菜 / 駒場学園高等学校

《作品賞》

・Think賞(2点)

「[靴田と山下]ゴミの処理について考えてみた!(SDGs12,15)」 靴田と山下 / 三田国際学園高等学校

「みんな平等という思いで」 23H39 / 石川県立金沢西高等学校

・Action賞(2点)

「Let's debate as a first step!」 Sano debaters / 栃木県立佐野高等学校

「子ども食堂の新たな形」 ラ・ルラシオン / 姫路女学院高等学校

・Message賞(1点)

「Hope」 陵南中学校放送部 / 加古川市立陵南中学校

《特別賞》 各1点

・近畿日本ツーリスト賞 【テーマ：観光】

「高校生が取り組むSDGs」 広島県立油木高等学校 / 広島県立油木高等学校

・武庫川女子大学賞【テーマ：つながり・コミュニティ】

「里山のSDGs」 社会科学部地域調査班 / 浜松学芸高等学校

・ミライノラボ賞【テーマ：都市と地方の若者の交流】

「高北家庭クラブ SDGsの取り組み」 高北家庭クラブ / 群馬県立高崎北高等学校

・横田アソシエイツ賞【テーマ：サステナビリティに貢献する商品とは】

「食品ロスと環境負荷から考える野菜の保存方法」 SusTea / お茶の水女子大学附属高等学校

③決算資料



決算資料

➤活動自体は2018年から開始していますが、2021年8月に法人設立をしたためまだ1期の決算をしていない状況です。

2022年7月期の予想 (P/L)

売上	1,800,000円
経費	1,700,000円
税引前利益	100,000円

会計税務顧問 松本次男公認会計士税理士事務所 (東京・目黒区)